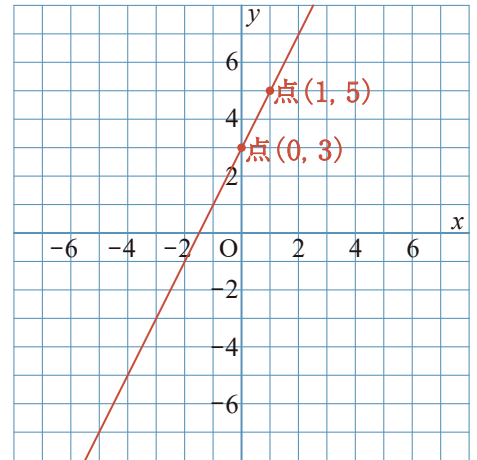


### 直線の式の求め方

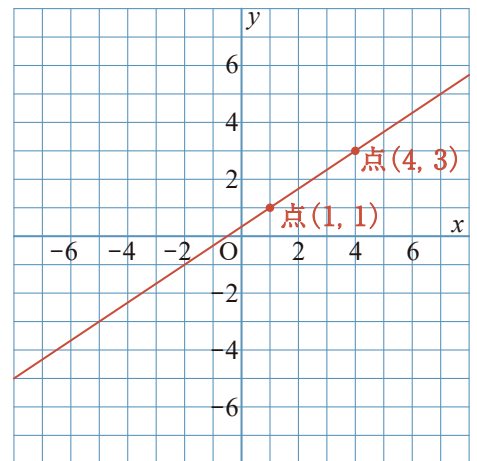
1 右の図のように、グラフから切片が読み取れる直線の式の求め方。

- ① 点(0, 3)を通るので、切片は 3 となる。
- ② 点(0, 3)から右に 1、上に 2 進んだ点(1, 5)を通るので、傾きは 2 となる。  
よって、直線の式は  $y=2x+3$  となる。



2 右の図のように、グラフから切片が読み取れない直線の式の求め方。

- ① 点(1, 1)と点(4, 3)の2点を通るので、傾きは  $\frac{3-1}{4-1} = \frac{2}{3}$
- ② 切片を  $b$  とすると  $y = \frac{2}{3}x + b$  となる。  
ここに点(1, 1)の  $x=1$  と  $y=1$  を代入して  $b$  を求めると、 $b = \frac{1}{3}$   
よって、直線の式は  $y = \frac{2}{3}x + \frac{1}{3}$  となる。



### 1 次関数の式の求め方

1 変化の割合が 3 で、 $x=2$  のとき、 $y=7$  となる 1 次関数の式を求める。  
変化の割合が 3 なので、 $y=3x+b$  となる。

この式に、 $x=2$  と  $y=7$  を代入して  $b$  を求めると、 $b=1$   
よって、 $y=3x+1$  となる。

2  $x=1$  のとき  $y=4$ 、 $x=3$  のとき  $y=2$  となる 1 次関数の式を求める。

$y=ax+b$  として、 $x=1$  と  $y=4$  を代入すると  $4=a+b$

$x=3$  と  $y=2$  を代入すると  $2=3a+b$

この連立方程式を解くと、 $a=-1$ 、 $b=5$  よって、 $y=-x+5$  となる。